

2008年1月～2024年3月に当院にて消化器腫瘍に対して手術療法を受けた方へ  
研究：「消化器腫瘍に対する手術療法や術期の化学療法、放射線療法などの  
有効性、安全性を検討する後ろ向き研究」の実施について

## 1. 研究の対象

2008年1月～2024年3月に当院で消化器腫瘍に対して手術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

消化器腫瘍とは、食道癌、胃癌、小腸癌、大腸癌、GIST等の消化管腫瘍に、膵臓癌、肝臓癌、胆道癌等の肝胆膵腫瘍を含めた腫瘍の総称です。消化器腫瘍に対する手術療法や化学療法、放射線療法の治療成績は日々向上していることは多くの臨床試験で検証されてきておりますが、実地臨床ではその有効性や安全性が異なる可能性があります。本研究では、実地臨床において、手術療法を中心とした消化器腫瘍に対する治療成績を評価し、より良い治療戦略について考察することを目的としております。

研究の方法としては、当院で手術療法を受けられた患者さんのカルテ情報を元に治療成績を解析し、統計学的な検討を行います。研究にあたり、患者様への追加の検査等の負担はございません。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、年齢、性別、理学所見、血液検査結果、腫瘍マーカー、内視鏡所見、病理学的所見、放射線学的所見、病歴、治療内容、治療の経過、治療開始日、有害事象、予後、最終生存確認日等

## 4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2026年12月末、予定症例数は約3,700例です。

## 5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表します。

## 6. 個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】 国立病院機構 四国がんセンター 消化器外科

【研究責任者】 羽藤慎二

【連絡先】 〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160

国立病院機構 四国がんセンター 消化器外科 羽藤慎二

TEL: 089-999-1111 (代表) FAX: 089-999-1128

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい